

日台観光推進協議会

NEWS RELEASE

平成 29 年 6 月 1 日
日台観光推進協議会事務局
公益社団法人日本観光振興協会事業推進本部
旅行振興部門 担当:阪本・村上・待谷
TEL:03-6435-8334 FAX:03-6435-6921

一般社団法人日本旅行業協会
海外旅行推進部 担当:酒井・権田
TEL:03-3592-1274 FAX:03-3592-1268

日本と台湾の双方向交流拡大に向け 「2017 日台観光サミット in 四国」を開催しました。

日台観光推進協議会（会長 山口 範雄 事務局：（公社）日本観光振興協会、（一社）日本旅行業協会）は、台湾側のパートナーである台日観光推進協議会（会長 葉 菊蘭 事務局：（財）台湾観光協会）と「2017 日台観光サミット in 四国」を 6 月 1 日に香川県高松市のかがわ国際会議場において開催し、①鉄道や温泉などに関する企業や地方都市間の相互交流の促進、②双方向でのクルーズ旅行の促進、③食の魅力の発信、④日台双方で予定されているスポーツイベント等を通じた若年層をはじめとした双方向交流の促進、⑤双方向交流 700 万人の実現 などを軸とした議長総括に合意しました。

「日台観光サミット」は、台湾からの訪日旅行・日本からの訪台旅行双方の促進を目的とし、相互交流人口の拡大を目標として、平成 20（2008）年に日台双方の旅行業界の経営者や観光業界のトップが集い、第 1 回の会議を台湾の台北市で開催しました。

その後、日本と台湾において一年交代で開催され、今回の四国が 10 回目の開催となりました。次回は 2018 年に台湾の台中（たいちゅう）市で開催される予定です。

会議の概要については、別紙をご覧ください。

- ・2017 日台観光サミット in 四国 開催結果概要・議長総括
- ・日台鉄道観光フォーラム開催結果概要
- ・これまでの日台観光サミットの概況と日台間双方向交流人口の推移

「2017 日台観光サミット in 四国」開催結果概要

1. 日時 2017年6月1日(金) 8:30~12:00

2. 場所 かがわ国際会議場

3. 主な出席者

<日本側>

山口 範雄 日台観光推進協議会会長・(公社)日本観光振興協会会長

本保 芳明 観光庁参与

小堀 守 日本観光局(JNTO)理事

田川 博己 日本旅行業協会会長

浜田 恵造 香川県知事

上甲 俊史 愛媛県副知事

大西 秀人 高松市長

ほか、地方自治体・観光協会、観光業界、旅行関係者、四国地元関係者等 126 名

<台湾側>

謝 長 廷 台北駐日経済文化代表処・駐日代表

周 永 暉 交通部観光局長

葉 菊 蘭 台湾観光協会会長

陳 訓 養 台北駐大阪経済文化代表処・処長

鄭 憶 萍 台湾観光協会東京事務所長

林 佳 龍 台中市長

趙 天 麟 立法委員

ほか、台湾側観光業界、旅行関係者、メディア等 85 名

日台合計 211 名

4. 2017 年日台観光サミット議長総括(日本語)

議長総括

2017年6月1日、日台観光推進協議会・台日観光推進協議会は、日本の四国に於いて「2017 日台観光サミット in 四国」を開催し、日台の双方向交流拡大に向けて意見交換を行った結果、日台双方は、2020 年に向けて相互交流 700 万人を着実に実現し、800 万人、900 万人の更なる高みを視野に入れて、努力していくことで合意した。

具体的な取組として、鉄道や温泉などに関する企業や地方都市間の相互交流の促進、双方向でのクルーズ旅行の促進、食の魅力の発信、日台双方で予定されているスポーツイベント等を通じた若年層をはじめとした双方向交流の促進などを行うこととする。

日台双方は、この共通認識と理解のもと、今後も積極的に日台間の相互交流に努め、2018 年に開催される予定の「第 11 回日台観光サミット」を台湾の台中市で行うことに合意した。

「日台鉄道観光フォーラム」開催結果概要

1. 日時：平成 29 年 6 月 2 日（金）14:30～17:30

2. 場所：西条市総合文化会館「小ホール」

3. 主な出席者

<日本側>

山口 範雄 日台観光推進協議会会長・(公社)日本観光振興協会会長
本保 芳明 観光庁参与
小堀 守 日本政府観光局理事
田川 博己 日本旅行業協会会長
石渡 恒夫 京浜急行電鉄会長
中村 時広 (愛媛県知事)
玉井 敏久 (西条市長)
ほか、地方自治体・観光協会、観光業界、旅行関係者、四国地元関係者等 154 名

<台湾側>

謝 長 廷 台北駐日経済文化代表処・駐日代表
周 永 暉 交通部観光局長
葉 菊 蘭 台湾観光協会会長
陳 訓 養 台北駐大阪経済文化代表処・処長
鄭 憶 萍 台湾観光協会東京事務所長
ほか、台湾側観光業界、旅行関係者、メディア等 79 名

日台合計 233 名

4. 日台鉄道観光フォーラム 次第

基調報告 泉 雅文 (四国旅客鉄道(株) 取締役会長)
彭 坤炎 (交通部台湾鐵路管理局運輸処副処長)
事例報告 石渡恒夫 (京浜急行電鉄(株) 取締役会長)
孫 鴻文 (台湾高速鐵路(股) 営業処副総経理)
パネルディスカッション 「さらなる鉄道観光交流の拡大に向けて」
・コーディネーター 米田 誠司 愛媛大学准教授
・パネリスト 坂巻 伸昭 東武トップツアーズ(株) 代表取締役社長
梁 榮堯 開発旅行社董事長
天野 泉 江ノ島電鉄(株)代表取締役社長
鐘 清達 台湾鐵路管理局副局長

これまでの日台観光サミットの概況と日台間双方向交流人口の推移

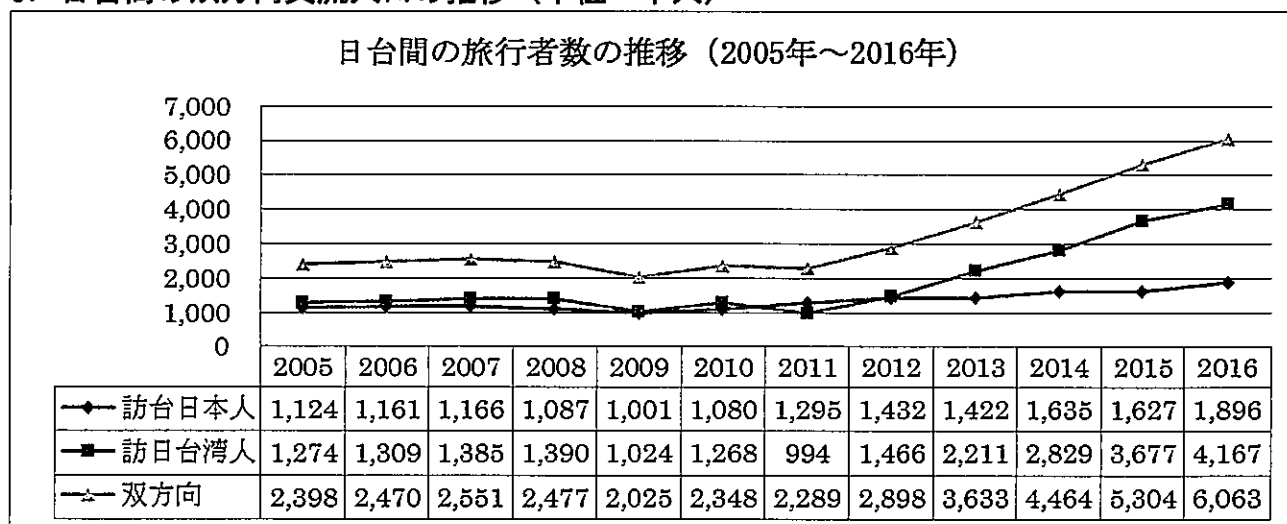
1. 開催のきっかけとこれまでの経緯

日台観光サミットは、2008年に当時約250万人だった日台間の双方向交流人口を300万人に拡大することを目指し、台北市で初めて開催された。その後、新型インフルエンザの流行や東日本大震災などがあったものの、2013年には当初目標としていた双方向交流人口300万人を達成した。その後も日台双方でさまざまな交流が行われた結果、2016年には600万人を達成した。

2. 日台観光サミットの開催状況について

第1回・2008年3月	台湾・台北市	(日本側31名、台湾側61名、合計92名)
第2回・2009年3月	日本・静岡県	(日本側77名、台湾側54名、合計131名)
第3回・2010年3月	台湾・南投県	(日本側39名、台湾側86名、合計125名)
第4回・2011年7月	日本・石川県	(日本側63名、台湾側46名、合計109名)
第5回・2012年7月	台湾・花蓮県	(日本側77名、台湾側101名、合計178名)
第6回・2013年5月	日本・三重県	(日本側153名、台湾側57名、合計210名)
第7回・2014年5月	台湾・屏東県	(日本側85名、台湾側151名、合計236名)
第8回・2015年5月	日本・山形県	(日本側150名、台湾側62名、合計212名)
第9回・2016年5月	台湾・宜蘭県	(日本側116名、台湾側139名、合計255名)
第10回・2017年6月	日本・四国	(日本側126名、台湾側85名、合計211名)

3. 日台間の双方向交流人口の推移 (単位・千人)



※台湾→日本の統計については、日本政府観光局 (JNTO) の統計による。

※日本→台湾の統計については、台湾交通部観光局の居住地別統計による。